

第39回 緑の市民懇話会 会議録（要旨）

1 日 時 平成28年9月27日（火） 10:00～12:00

2 場 所 市役所403・404会議室

3 出席者

（委員） 久座長、磯貝委員、稲葉委員、大鋸委員、倉品委員、山田陽子委員、林原委員、日高委員、山田勲委員、岩井委員

（事務局） 林みどり公園課長、石田みどり公園課課長補佐、吉田みどり公園課公園管理係長、銭谷

（欠席者） 2名

4 議事内容

1 開 会

2 案 件

（1）コミュニティパーク事業の箇所選定について

5 議事録

（1）コミュニティパーク事業の箇所選定について

【事務局説明】

- ・資料にてコミュニティパーク事業について説明。（みどり公園課）
- ・今回は6月に募集、ロイヤルヒルズ東生駒自治会「山崎第1公園」と、真弓1丁目自治会「真弓1丁目公園」、桜ヶ丘自治会「桜ヶ丘公園」、みなみ野台自治会「小瀬第2公園」の4団体から応募があった。

審査のポイント

- ①地域の連携・・・自治会中心に地域の方々が連携してワークショップに参加できるか。
- ②公園の課題解決・・・既存公園の課題を踏まえ、課題解決に取り組む意欲があるか。
- ③公園の育成・・・公園をよりよく利用し、管理等にも積極的に取り組む意欲があるか。

「山崎第1公園」の概況説明

- ・利用者はごく一部の子どもに限られ、リピーターはほとんどおらず、公園として期待される地域コミュニティの創設機能が果たされていない。

・地域としてはロイヤルヒルズ東生駒自治会が中心となり、市の援助を受けて年2回の定期清掃を行ってきたが、あくまで草刈・清掃程度であり、上記問題は自治会・住民のみで解決することが困難であるため、最低限必要な管理はやるけれど、これ以上はどのような方法もないので、行政に任せるしかないと考え、積極的な公園の活用・改善を行ってこなかった。

・ロイヤルヒルズ東生駒自治会は設立20周年が経過し、自治会員が高齢化している状況であるが、設立当初の子どもが子育て層となってロイヤルヒルズ東生駒に再び入居し、自治会会員として帰って来ることも多く、現在は比較的活力あふれる時期になっている。このような中、山崎第1公園を年配層・子育て層・子ども層の三世代が意思疎通を図れるような、豊かな交流の場を創設するような公園にしたい。

・これまでロイヤルヒルズ東生駒自治会としては、公園の最低限の管理のみ行ってきたため、コミュニティパーク事業に選定された際には、自治会によるボランティアグループを新たに設立し、公園の日常的な維持管理を行うとともに、夏祭り・新年会等の定期的なイベントを自治会と協力して開催することにより、公園の利活用の活性化に努めていきたい。

・山崎第1公園は、一部ではあるがロイヤルヒルズ東生駒自治会員以外の、近隣住民の利用も見受けられるため、公園は自治会だけのものではなく、利用者全員が利益を共有できる財産であるという考えのもと、ワークショップの開催に際しては、オブザーバーとして当自治会員以外の利用者の声を可能な限り聞き取る機会を求めようと検討している。

・なお、今回の応募に際して、自治会役員及び子供会に於いて協議を重ね、最終的に7/31の自治会総会にて自治会員の賛成を得るべく準備中である。

「真弓1丁目公園」の概況説明

・樹木や高低の段差で周辺道路から中が見えにくく、閉鎖的で入りづらい。ゆえに防犯上も好ましくない。

・公園北側と南側に1.5mほどの段差があり、隔離された感じで使い勝手が悪い。

・公園自体の魅力が乏しく、公園を活用する仕組みが作られていない。したがって利用する人が少なく、せっかくのすばらしい財産が活かされていない。

- ・利用が少ないために、雑草を踏み荒らすことがなく生え進むために利用が少ない。
- ・ときどき幼児と保護者が遊具で遊んだり、児童がボール遊びをしたり、藤棚の下で家族連れが談笑する姿を見かけるが、利用は少ない。
- ・自治会が年2回の草刈・清掃を業者委託しているほか、自治会役員で毎月1回のゴミ拾いをしているのでゴミは比較的少ないが、草刈は夏場にもう1回程度したいが予算がない。
- ・落ち葉がひどく、周辺道路の落ち葉清掃を周辺住民の美化活動に頼っている。
- ・真弓1丁目見守り隊が、花壇の育成(年2回の植替えと水遣り)を適宜しているため、四季を通じて花があり、美化に貢献している。また砂場の衛生管理も適宜している。
- ・春の気候の良いとき、町内の真弓小学校低学年の校外学習の場となっている。
- ・4年前・2年前と過去2回の応募落選。今回3回目となるため、前にも増して熱心な要望が出ている。
- ・以前の当選自治会では、公園を綺麗に草刈等自主的にやりだしたとのことで、リニューアルし甲斐のある公園と評価を頂いているケースもあるが、当自治会では既存グループのボランティア活動によって比較的良好な美化環境にある反面、高低さのある使い勝手の悪さや、夏場の雑草の生育、日除けや背もたれ付きベンチがない等、子ども・家族連れ・年寄りが遊びにくい環境だった。これを改善すべく今年3月の自治会総会にてコミュニティパーク事業に応募、推進を決議。専任の推進者を決め、地域のボランティアグループとともに多世代と交流し、遊び場をテーマに環境改善のディスカッションを重ねてきた。リニューアル後は自治会を中心とした地域ボランティアグループの更なる活動により、使い勝手の良い、雑草が少なくメンテナンスしやすい、防犯面も合わせた良好な環境を図り、ベンチや東屋なども含め、多世代が交流し憩いの場となるよう維持管理していく。

「桜ヶ丘公園」の概況説明

- ・老人会と有志による早朝のラジオ体操。午後の幼稚園児帰宅前のお遊び。年間を通し、園児・児童の利用が多い。4月の桜・花見の会。7月夏祭り。年4回の公園清掃。
- ・公園内の桜が老木化し、これから先桜ヶ丘の町名にそぐわない公園となるのではと危

惧しており、公園内に桜の植樹をお願いしたい。

- ・公園内の状況・環境から緑がどんどん無くなる中、桜の木の植樹も含め、木のぬくもりあるまちづくり。桜寿会・婦人会等ボランティアによる維持管理をしていく。

「小瀬第2公園」の概況説明

- ・既設の第2公園には砂場やすべり台などがあり幼児の利用は毎日のようがあるが、南側の旧コミプラ用地であったところが未整備のままで、なんら利用できない。

- ・未整備地も含め、公園全体を自治会・老人会・個人・ボランティアなど年2回の清掃日を設け、且つ日常的に部分的清掃を行っている。

- ・既設部分を幼年者利用の場とすれば、新規部分に於いては老年者利用を中心とすると、幼老一体の公園となり大きなコミュニティの場になると期待。

- ・公園デビューの場から介護予防も図れる公園となれば、公園に対する思いも強くなり、意識も高まると思う。今以上の自主的管理も必要となるが、十分対応できるものと考えている。

【委員意見等】

- ・今回の選定も1グループのみですか。(発言)

⇒そうです、今回予定しているのはH28・29年度のコミュニティパーク事業の対象となります。28年度にワークショップ、29年度に実際の工事を行う予定です。

- ・小瀬第2公園では前のコミプラ用地を使いたいという話ですが、それはOKなのか。(発言)

⇒はい。今回それを一緒にすれば、一体的な利用ができると思います。

- ・真弓1丁目公園で、夏場に草刈をもう1回やりたいとありますが、それ以外のところは市の委託料から出しているのですか。(発言)

⇒草刈については4団体とも自治会の覚書で委託契約しているので、その中で運用していただいています。

- ・覚書の委託料では足りない場合、自治会が出すこともありますか。(発言)

⇒現実問題、草刈機などを自治会で持っていなかったらシルバー人材センター等の業者をお願いされると思います。市名義の公園ですから市が委託料を出すのですが、地域の

公園なので、市の委託料を原資に自治会で付け足して業者をお願いしている自治会も多数あります。

・真弓 1 丁目自治会は 3 回目の応募で、ここも高齢化の問題もありますし、早くしてあげないといけないと思います。(発言)

・ワークショップの参加人数がそれぞれ全く違い、桜ヶ丘自治会は 5 名ということで、ワークショップの意味をご理解いただけていないのかなと思います。他のところの 15 名というのは自治会と子供会の役員だけというような気がします。一方で真弓 1 丁目は 70 名ということで、皆さんに参加していただきたいという思いが伝わってきます。それを踏まえても真弓は 3 回目なので、コミパの意味を考えて選定していただきたいなと思います。ロイヤルヒルズさんは若い方も活動に参加されているし、すごくもったいないなと思います。76 世帯あってその 76 世帯全員でワークショップに参加していただいて、絆を深めていただきたいなというのも考えていただきたいです。(発言)

・もっとコミュニティパーク事業について宣伝してもいいと思います。生駒市のコミパのホームページは堅苦しくて面白みがないので、もっと分かりやすく、今までのインタビューとかを載せてほしいです。(発言)

・コミパをやった 8 箇所について、その後の調査やフォローはされていますか？そういうのがあれば私たちも聞きたいです。(発言)
⇒交流会みたいなものも考えられると思っています。

【審査】

⇒審査の結果、真弓 1 丁目自治会をこの会としては推すとさせていただきます。ただし、もう 1 回必要という草刈りについては自分たちでやってもらいたい。